

としょかんだより

岡山市立石井小学校図書館 2024. 1. 10

あけましておめでとございます



1月のことを昔の言い方で「睦月」と言います。

親せきなどが集まってむつまじく(仲よく)過ごす月だからと言われています。

お正月、家族や親せきの人たちと楽しく過ごした人たちも多かったことでしょう。

楽しい時期であるからこそ、いっそう、能登半島地震のニュースには驚き、被災した方々へ

の思いが募るこの頃です。私たちにできることは何か考え、行動するとともに、決して他人事

ではないことを胸に、災害への備えを行うことが必要です。



右にあるのは日本気象協会の地震情報サイトの震央分布図です。

過去100日間の震度1以上の地震が、どこで起こったかを表してい

ます。日本列島は、すっぽり地震多発地帯の一部であることを自覚しておかなくてはなりません。

図書館でも、防災関係の本を集めて展示します。ぜひ、あらためて家族で防災について話

し合ってほしいと思います。

石井小図書館では、夢中になって読みふけることのできるような本や、学習や日々の生活に

役立つ本など用意して石井小学校の皆さんの豊かな読書生活を応援します。



本年もよろしくお願ひします。

ことしは、辰年



千支の12の生き物の中で、ただ一つ、辰(龍)は空想上の生き物で

あり、古くから、世界各地で様々な姿や特徴が思い描かれてきました。

日本など東アジアに伝わる「龍(龍神)」は、水を司る神として信仰されています。

一方、ヨーロッパに伝わる「ファイヤードレイク」は、すべてを焼き尽くす炎をはくドラゴンだそ

うです(「朝日小学生新聞」2024年1月1日号より)。

人はなぜ、こんなにも、恐れのおもひをもちながらも、竜やドラゴンに惹かれるのか考えな

がら、竜やドラゴンにまつわるいろいろな本を読んでみるのもいいですね。

石井小図書館にも、竜やドラゴンの本を集めて展示します。ぜひ、読んでみてください。

竜やドラゴンが出てくるお話(石井小図書館にあるものです)

『たつのこたろう』松谷みよ子/作 『りゅうのめのなみだ』浜田広介/文

『青き竜の伝説』久保田香里/作 『獣の奏者 闘蛇編』上橋菜穂子/作

『ドラゴン伝説—異国の竜の物語』デイヴィッド・パーシズ/作 など他にも多数あります。

岡山市立幸町図書館の本の福袋に、石井小の福袋も置いていただいています。

(テーマ:「辰にちなんで(竜みたいなもの)」「未来を創るために過去を知る」)

どんな本が入っていたかは、下にあります。

☆辰にちなんで(竜みたいなもの):『ちょろりととっけー』『鳥は恐竜

だった 鳥の巣からみた進化の物語』『ルンピ・ルンピ ぼくのともだちドラゴン』

☆未来を創るために過去を知る:『赤いボタン』『戦争をやめた人たち 1914年のクリスマス休戦』『せんそうがおわるまで、あと2分』

